



令和5年度 いじめ防止標語コンクール 優秀賞作品

教えてよ 君の苦しさ 半分んこ

弘前市立相馬小学校 6年 大畠 真樹

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

\*受賞当時の学校と学年です

「とめないと」そんな気持ちを行動に

十和田市立東中学校 1年 三浦 莉子

## 学校DX ~デジタル技術で学校が進化中!~

デジタル技術を活用して生活や仕事を変革することを、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」といい、県内の学校でもデジタル技術の活用が進んでいます。今回は県立学校で取り組んでいる「学校DX」の事例を紹介します。

### デジタル教材の活用!

#### 教科「情報」

高等学校の「情報I」の内容を生徒個々のペースで学習できます。



授業の予習・復習や、プログラミングの学習ができるよ!

※県立高校の教科「情報I」で活用

#### 教科「外国語」

英語に必要とされる4つの技能、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」を学習できます。

AIとの英会話トレーニングもできるよ!



※令和6年度は、県立中学校、県立高校のモデル校18校で活用。

### デジタル採点システムの導入!

スキャナーで生徒の答案を読み込み、パソコンの画面で模範解答と比較して採点できます。AI採点機能も備えていて、先生たちの採点時間が短くなり負担軽減になります。

得点の自動集計ができるので助かります!



※県立中学校、県立高校に導入

### Microsoft365®の活用

県立学校では、クラウドサービスとして利用可能なMicrosoft365®を活用することになりました。全ての県立学校(中学校、高等学校、特別支援学校)の児童生徒、教職員が利用可能で、それぞれパソコンやタブレット、スマートフォンで活用することができます。

Minecraft™(マイクラフト:プログラミングも可能なアドベンチャー教材)などの、Microsoft365®サービスで提供されるいろいろなツールを使って学習活動を行うことで、これまで以上に学びが深まることや、校務の効率化につながることが期待されます。

### DXハイスクールの挑戦 - ICTで広がる学びの可能性 -

情報や数学などの教育を重視し、ICTを活用した文理横断的で探究的な学びを強化することを目的とした「高等学校DX加速化推進事業」(文部科学省)に本県の県立学校から10校が応募し採択されました。今後、デジタル技術を使って学習する環境を整備し、デジタルなどの成長分野を支える人材育成のために様々な取組を展開する予定です。

#### 【各校の取組予定】



学校名	主な内容
青森南高等学校	文理融合型の探究的な学びの実践、データサイエンスやAIの活用
青森商業高等学校	生成AIでビッグデータを解析するなど、ビジネスにおいてDXを有効に活用できる人材の育成
青森工業高等学校	数値計算やAI技術の要素を取り入れた発展学習、BIMの使い方と設計図面の作成学習
北斗高等学校	個別最適な学びの充実に向けたAI教材(AIドリル)の活用
弘前高等学校	ねぷた制作と探究的な学びにおけるDX化の研究、データサイエンスなどの学習
弘前工業高等学校	工業各分野のDX化に対応するため、IoT、AI、クラウド等の発展学習
弘前第一養護学校	プロジェクトVR(仮想空間、没入空間)による擬似体験学習、IoTセンサー等を活用した水耕栽培
五所川原農林高等学校	重機シミュレータを活用したICT施工の研究、体験入学や文化祭等での操作体験実施
八戸水産高等学校	スマート養殖システムを活用したICT教育
三沢商業高等学校	コンテンツ制作やビッグデータなどの発展学習、小中学生を対象とした体験教室の実施

